

Tadahiko Hayashi Award 20th Anniversary

# 林忠彦賞20回記念 写真展

歴代受賞作

会期

2011年  
9月17日(土) ▶ 10月30日(日)

9時30分～17時 (入館は16時30分まで)

《月曜日休館》

ただし9月19日(月・祝)、10月10日(月・祝)開館、  
9月20日(火)、10月11日(火)休館

観覧料

500円(450円)

( )内は前売および団体(20名以上)

18歳以下および70歳以上、身障者の方は無料。受付で証明できるものをご提示ください。※本展をご鑑賞の際は、常設展も無料でご覧いただけます。

■主催/周南市美術博物館  
KRY山口放送  
読売新聞社

■後援/山口県、山口県教育委員会  
周南市・下松市・光市・  
田布施町および各教育委員会



第1回 後藤正治  
「西域—シルクロード」



第2回 捧 武  
「田園の微笑」



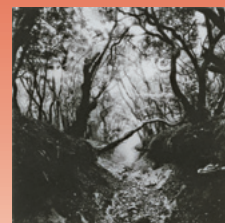
第3回 木村伸久  
「静岡の民家」



第3回 田崎 力  
「たかちほ」



第4回 長 洋弘  
「帰らなかった日本兵」



第5回 岡田 満  
「追いつめられたブナ原生林の輝き」



第6回 井上冬彦  
「サバナが輝く瞬間」



第7回 井上 暖  
「ぼくは、父さんのようになりたい」



第8回 清水公代  
「天空の民」



第9回 渡里彰造  
「Personal View [視線の範囲]」



第10回 竹林喜由  
「塩の道 秋葉街道」



第11回 角田和夫  
「ニューヨーク地下鉄ストーリー」



第12回 石川博雄  
「静かな時への誘惑」



第13回 飯田 樹  
「海を見ていた—房総の海岸物語—」



第14回 中條均紀  
「古志の里II」



第15回 田中弘子  
「蒔の輝き」



第16回 後藤俊夫  
「黄土高原の村 / 満蒙開拓の村」



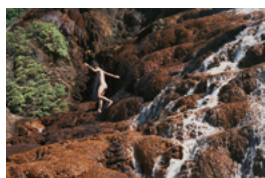
第17回 小林 勝  
「長崎フォトランダム  
—長崎は撮ってさらき、半世紀—」



第18回 大西成明  
「ロマンティック・リハビリテーション  
～夢みるカ・20の物語～」



第19回 小栗昌子  
「トオスツプ」



第20回 山内道雄  
「基隆」

同時開催

第20回  
林忠彦賞受賞記念写真展  
山内道雄「基隆」



周南市美術博物館  
Shunan City Museum of Art and History  
山口県周南市花島町10-16 TEL(0834)22-8880  
http://s-bunka.jp/bihaku/

●林忠彦賞 <http://hayashi-award.com/>

Tadahiko Hayashi Award 20th Anniversary

# 林忠彦賞20回記念写真展

今回展示作品

「カストリ時代」「日本の作家」「日本の画家」「若き修羅たちの里—長州路」など、戦後日本の姿をカメラで捉え続けた写真家、林忠彦。生涯を通じて写真を撮り続けると同時に、多くの写真家たちの育成に力を注いできました。1985年(昭和60)肝臓ガンを宣告され、さらに脳溢血にも襲われながらも執念で「東海道」を完成、1990年(平成2)12月、72歳の生涯を閉じました。

林忠彦の出身地、山口県周南市は、氏の数々の偉業を顕彰し、1991年(平成3)度アマチュア写真の年間最優秀作品を選出する林忠彦賞を創設しました。

林忠彦賞は、その年一年間に写真展、写真集、カメラ雑誌などに発表された作品を対象とし、公募による自薦作品と写真界各層の関係者の推薦を受けた推薦作品の中から、選考委員会によって決定します。受賞作は新たにプリントし、受賞記念写真展を各地で開催し広く紹介します。また周南市の林忠彦コレクションに加え、周南市美術館に収蔵します。

この20年間、写真界は急速な変化を遂げてきました。林忠彦賞も時代に合わせて改革を進めてきました。第12回からは、急速なデジタル化によって多極化する表現形態に対応し、新しい写真表現を目指す作家の参入を推し進め、さらにプロ写真家からも注目を集める中、第18回からは募集対象をプロ作家にまで広げました。

時代と共に歩む写真を撮り続けた林忠彦の精神、それを継承し乗り越え、未来を切り開く写真家の発掘を目指す林忠彦賞。2010年(平成22)度、遂に20回を迎えることになりました。

第1回受賞作後藤正治氏「西域—シルクロード」から第20回受賞作山内道雄氏「基隆」までの21作品(第3回は2作品受賞)は、いずれもその時代の息吹を色濃く反映しています。今展では歴代の受賞作品(代表作)と、各受賞者の新作等を一堂に展示し、林忠彦賞の辿ってきた歴史、そして未来を展望します。

社会は心を撃つ写真をさがしています。写真の持つ力を、この展覧会でぜひ感じ取ってください。

本展は2012年度に、東京近辺でも開催予定です。



第1回 後藤正治  
「シルクロード再訪」



第2回 榎武  
「かやぶきと生きる」



第4回 長洋弘  
「インドネシア賛歌」



第5回 岡田 満  
「神々の森・熊野」



第6回 井上冬彦  
「ヌーの川渡り」



第7回 井上 暖  
「聖母子像」



第8回 清水公代  
「横田ストリート—つかの間の休日—」



第9回 渡里彰造  
「斜光のバラード」



第10回 竹林喜由  
「塩の道・千国街道」



第11回 角田和夫  
「シベリアへの旅路—我が父への想い」



第12回 石川博雄  
「草むら妄想日記」



第13回 飯田 樹  
「青春に戻る日」



第14回 中條均紀  
「古志の里 春夏秋冬」



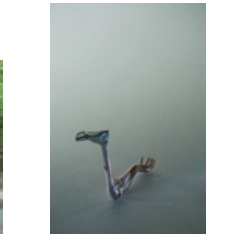
第15回 田中弘子  
「余白と遊ぶ」



第16回 後藤俊夫  
「拓魂残影」



第17回 小林 勝  
「回天のふるさと、周南」



第18回 大西成明  
「不気味の谷」



第19回 小栗昌子  
「フサパンバの山」



第20回 山内道雄  
「東京」

◆榎武氏(第2回)は2010年に逝去されましたが、ご出品いただくことができませんでした。木村仲久氏は1999年に逝去、田崎力氏のご高齢のため(いずれも第3回)プリント作品はご出品されません。ご了承ください。

周南市は、林忠彦のオリジナルプリントの収集を行い、周南市美術館常設展示室「林忠彦記念室」で紹介しています。展示を通じて林芸術を広く後世に伝えるなど「写真のまち・周南」として活動を続けています。  
※会期中、林忠彦記念室では、林忠彦の代表作を展示します。

同時開催

## 第20回 林忠彦賞受賞記念写真展 山内道雄「基隆」

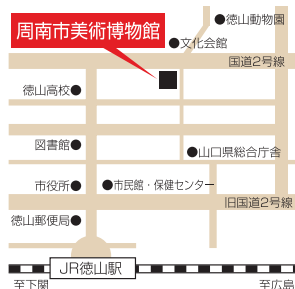
次回展覧会のご案内

「児玉源太郎と近代国家への歩み」

2011年12月2日(金)~2012年1月15日(日)

《交通のご案内》

徒歩：JR徳山駅から約20分  
バス：徳山駅より「バイパス経由花岡行」「バイパス経由下松駅北口行」「金剛山じゅんかん」乗車、「動物園文化会館入口」下車、徒歩3分  
水・金・土・祝日は「街なかふれあいバスぐるぐる」を1時間ごとに運行、美術館コースで「美術館」下車  
駐車場：159台



周南市美術館  
Shunan City Museum of Art and History

山口県周南市花島町10-16 TEL (0834) 22-8880

●林忠彦賞 <http://hayashi-award.com/>

●周南市美術館 <http://s-bunka.jp/bihaku/>